

第235回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2010年11月16日(火) 13:30~17:20

会 場 オルガノ株式会社 (<http://www.organo.co.jp/company/pdf/honsya.pdf>)

〒136-8631東京都江東区新砂 1-2-8, 電話 03-5635-5191

アクセス: 東京メトロ東西線『東陽町駅』下車(3番出口) 徒歩 約7分

開催趣旨

クロマトグラフィーの技術は、主に定量分析用LC(HPLC)における分離部に利用されているという認識が強いようです。しかし、この分離技術は「試料の分析前処理」や「分取・精製」にも実用されており、幅広く活躍しています。

今回は、「固相抽出」「カラムスイッチング」といったオフライン・オンラインの試料前処理や「分取・精製」といった利用例をご紹介いただき、「クロマトグラフィー」の有用性や可能性を多方面からご講演いただきます。

講演主題 「クロマトグラフィー技術の有効利用 - 前処理から分取・精製まで」

講 演 講演主題概説(オーガナイザー)(13:30~13:35)

(グレースジャパン(株)) 渡辺 一夫

1. 上手な精製のコツ~サンプル前処理から分取LCまで(13:35~14:05)

(日本ウォーターズ(株)) 佐々木俊哉

2. 内面逆相カラムL-column L-1180を用いたカラムスイッチングによる血清試料のオンライン除タンパク(14:05~14:35)

(財)化学物質評価研究機構) 須藤良久

3. カラムスイッチング技術を応用した自動前処理システムについて(14:35~15:05)

(株)島津製作所) 山部恵子

4. CTC PALを用いたSPE/LC/MSのオンライン前処理実用化の検討(15:05~15:35)

(株)東レリサーチセンター) 櫻井 周

休憩(15:35~15:50)

5. 質量分析計の性能を活かすためのクロマトグラフィー技術の最適化(15:50~16:20)

(株)パーキンエルマー・ジャパン) 池ヶ谷智博

6. 有機合成物質の精製を目的とした各種クロマトグラフィー技術の最適化と有効化事例(16:20~16:50)

(グレースジャパン(株)) 渡辺一夫

7. 総括: 「クロマトグラフィー技術の有効利用」(16:50~17:20)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋

カタログ展示 1小間5,000円(場所・スペースは運営委員に一任させていただきます。)

参加費 LC研究懇談会会員: 1,000円, 協賛学会会員(日本分析化学会含む): 3,000円, その他: 4,000円, 学生: 500円(参加費は当日申し受けます)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで交換会を開催します(会費3,000円)。

希望者は必ず前もってお申し込みください(参加費は当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入のうえFAXまたは同内容をEメールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話: 03-3490-3351, FAX: 03-3490-3572, E-mail: hm_tanaka@jsac.or.jp]